

## 令和4年度第1回地域包括ケアシステム検討委員会次第【報告】

日時 令和4年7月14日（木）

10:00～11:50

場所 高梁市役所 3階大会議室1・2

### 1 開 会（進行：笹部主査）

### 2 あいさつ（森本所長補佐）

新型コロナウイルスの感染者数がぶり返してきている中で感染症対策に気をつけて委員会を開催したい。急速な高齢化が進展するため地域包括ケアシステムの推進が必要となっている。昨年度はボランティアの養成を中心に事業を行ったが課題が多いため、委員の知恵を借りたい。

### 3 自己紹介

### 4 委員長選任（職務代理者指名）

委員長：山根 由美 委員 職務代理者：村上 小代子 委員

委員長あいさつ

高梁市全体では40%を超える高齢化率となっている。地域包括ケアシステム構築のためには高梁市全体のことを考えなければならないと思うので、この会で活発な意見交換を行い地域包括ケアシステムの構築の一助としたい。

### 5 協議事項

#### （1）地域ケア会議について（森本所長補佐）

資料2～7ページにて説明

#### （2）高梁市の取り組みについて（石村委員、西川社会福祉士、惣田主事）

資料8～37ページにて説明（生活支援体制整備事業、生活支援コーディネーター、いきいき生活サポート事業、通所型サービスB、介護支援専門員研修会、元気なからだづくり隊活動支援、通所付添サポート事業）

#### （難波委員）

いきいき生活サポート事業の利用料はそのままサポーターの収入になるのか？

#### （事務局）

30分300円の利用料を設定しており、時間に応じた利用料がサポーターの収入

となる。

(加藤委員)

資料34ページの課題の項目内で地区社協との連携方法が分からないとあるが現状でどうなっているのか？

(事務局)

通いの場の運営団体と通所付添サポートの運営団体が違う場合に連携に苦労している状況となっている。

(加藤委員)

通いの場の運営団体と通所付添サポートの運営団体が同じであれば、狭い範囲での活動しかできず高梁市全体に広まりにくい状況になっていると思われる。全体的なコーディネート不足だと考えられるので調整をする必要がある。

### (3) グループワーク

取組みを活発にするためには？

- ・元気なからだづくり隊
- ・通所付添サポート事業

※グループワークの説明（西川社会福祉士）

グループ①、グループ②に分かれてグループ①は「元気なからだづくり隊」、グループ②は「通所付添サポート事業」について、それぞれの取組みを活発化させるためのグループワークを行う。

※グループワーク資料説明

※グループワーク

※発表

} 別紙

※まとめ（山根委員長）

団体立ち上げまでの手続きや受講要件が多く始める前に心が折れている部分があるのかもしれない。会の定期開催が難しいのであれば、既存の催事と一緒に実施してなるべく負担軽減できるような仕組みが必要と感じた。

通所付添サポート事業において車が大きすぎると高梁市の道路状況では運転が難しいため、コンパクトな車両の導入が必要となる。また受講要件が75歳未満であるが75歳以上でも元気な方は多いため、地域事情に合わせて年齢要件の緩和などの柔軟な対応が求められる。

## 6 その他

ボランティア養成講座、服薬支援ロボットについて

## 7 閉会（村上職務代理）

この会を通じて委員同士の関係性が築けたと思う。次回以降もこのメンバーで検討して、皆さんが地域で過ごせるように諸問題の解決ができればいいと思う。